

## データ年鑑『日本 e スポーツ白書 2022』発売 豊富な情報量で e スポーツ産業の市場動向を分析

2021 年の国内 e スポーツ市場は前年比 106% の 78.4 億円

2021 年の国内 e スポーツファンは 743 万人

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、国内 e スポーツ業界のデータ年鑑『日本 e スポーツ白書 2022』を 2022 年 11 月 30 日（水）に発売します。

本書は、一般社団法人日本 e スポーツ連合（東京都中央区、会長：岡村秀樹）が、日本国内における e スポーツの普及と発展のため e スポーツ利活用の推進を目的として刊行します。角川アスキー総合研究所は日本 e スポーツ連合からの委託により本書の制作、販売を行います。



### 日本 e スポーツ白書 2022

- ・ 価格：100,000 円(税/送料込)
- ・ 発売日：2022 年 11 月 30 日（水）
- ・ ページ数：258 ページ
- ・ 商品形態：PDF ファイル（CD-ROM に収録）
- ・ 発行：一般社団法人日本 e スポーツ連合
- ・ 制作・販売：株式会社角川アスキー総合研究所

\*本書はオンラインショッピングサイト「f-ism (エフイズム)」のみの販売となります。

<https://f-ism.net/report/nesh2022.html>

### 国内 e スポーツ産業の現状と展望を最新データで解説

本書は日本国内の e スポーツ市場の動きを、関連企業への多種多様な調査データや、Twitter 解析によるユーザー動向、さらにはイベントやゲームタイトルに関連する各種情報など、さまざまな視点から分析するデータ年鑑です。新型コロナウイルスの影響が続く中、新たな展開を見せる国内 e スポーツ市場の現状と展望を多角的な情報で解説します。

#### < 主な内容 >

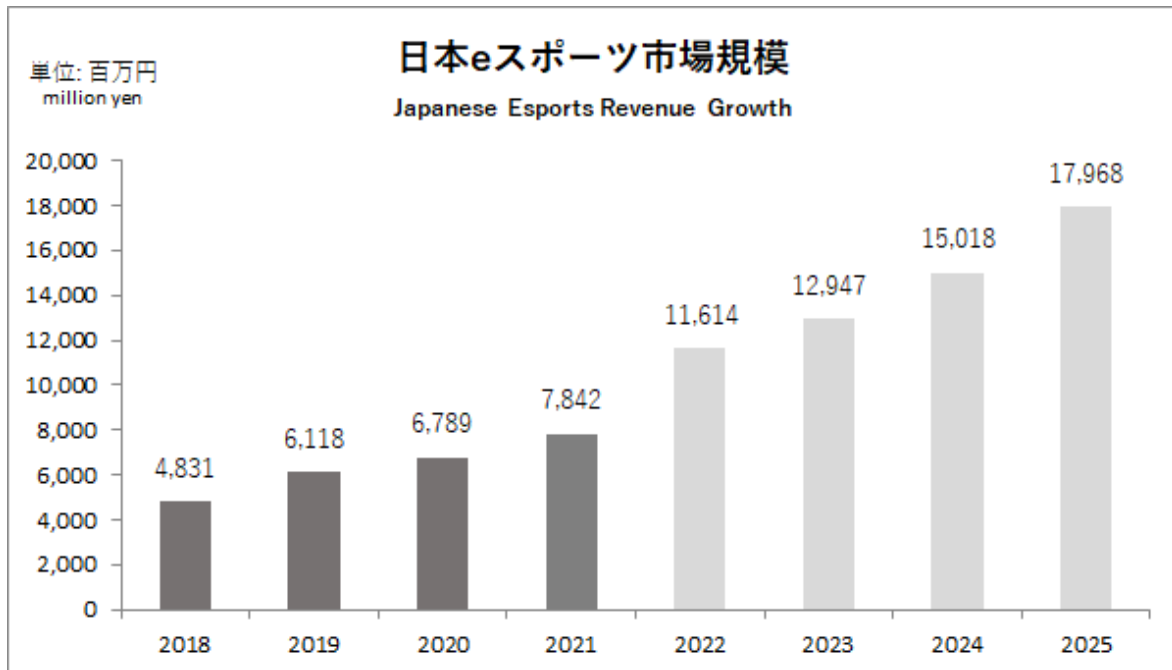
- ・ 2021 年 e スポーツ市場を多角的に分析できる各種データを掲載
- ・ e スポーツ関連企業へのアンケート調査による市況分析
- ・ Twitter 解析から探るユーザー情報や主要タイトル分析
- ・ e スポーツ市場における Z 世代分析
- ・ e スポーツ関連ニュース一覧
- ・ 関係省庁や関連団体などインタビュー／寄稿

# 『日本 e スポーツ白書 2022』 主なトピックス

\*本リリースのデータを引用される場合は、出典として「日本 e スポーツ白書 2022/角川アスキー総合研究所」の明記をお願いします。

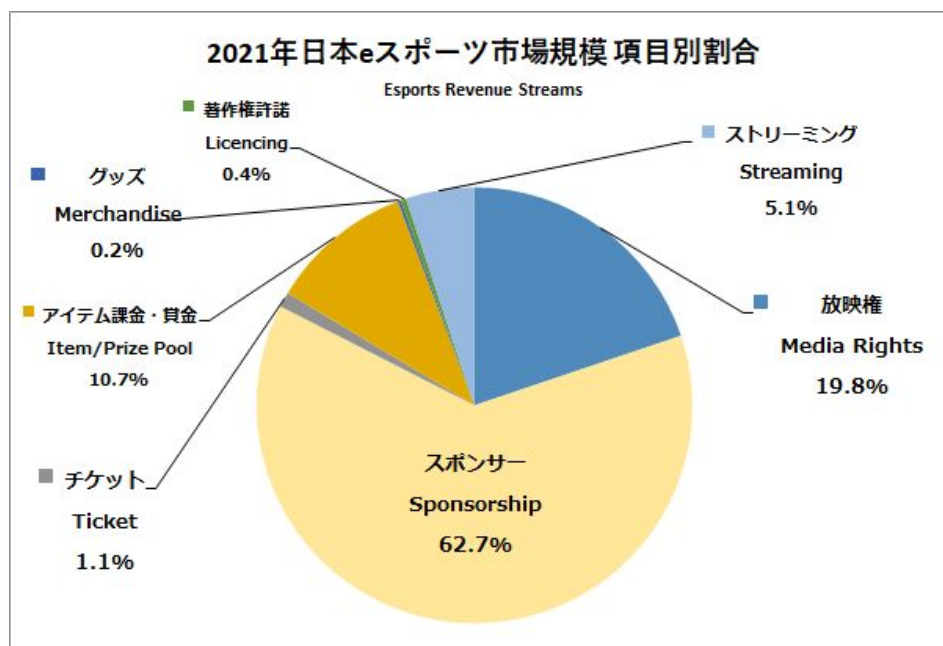
## 2021 年国内 e スポーツ市場は前年比 115.5%の 78.4 億円に

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020 年から 2021 年にかけての成長率はやや鈍化したものの、市場規模は着実に拡大しました。2022 年以降は、国内外で大型競技大会が再開されることもあり、年平均 20%を超える成長率で拡大することが見込まれています。



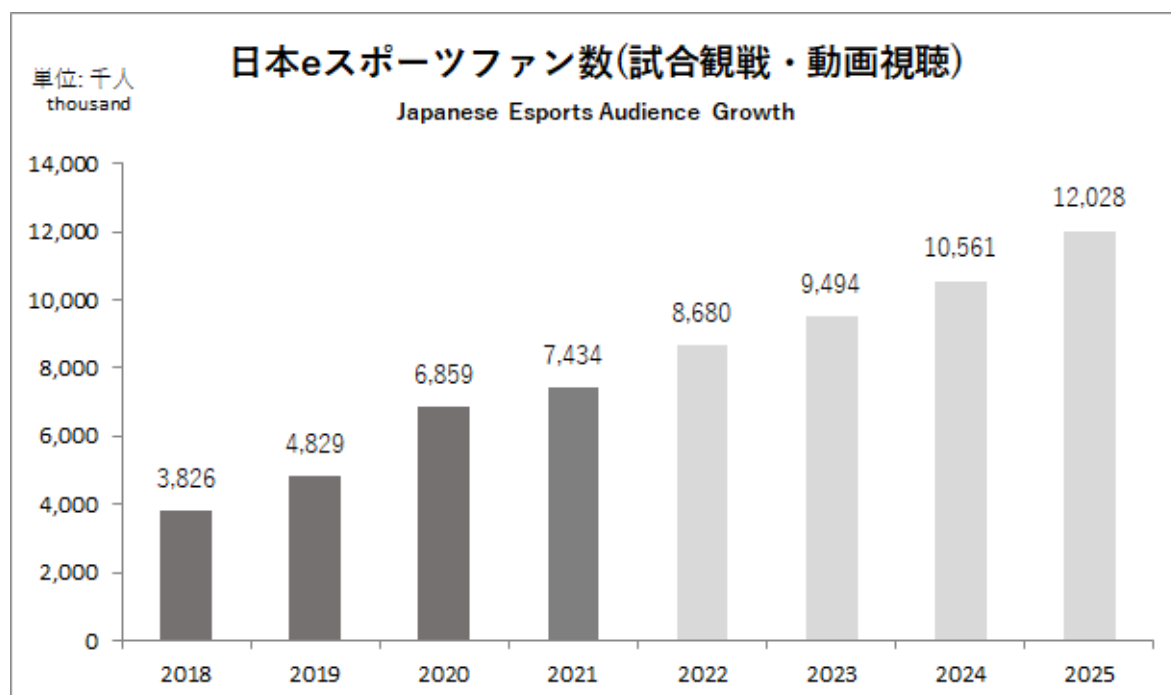
## 2021 年の日本 e スポーツ市場は「スポンサー」関連が 6 割以上

2021 年 e スポーツ市場規模の内訳を項目別にみると「スポンサー」関連が 62.7%と大半を占めています。また、大きな成長を見せているのが「ストリーミング」関連です。これは選手やチームがストリーマーとなり、拡散力を発揮したことが大きな要因の 1つと考えられます。2022 年以降もこのカテゴリーの伸長が注目されます。



## 2021年の日本eスポーツファン数は743万人に拡大

2021年の日本eスポーツファン数（試合観戦、動画視聴経験者、地上波番組等の関連放送視聴経験者）は、前年比108%の743万人となりました。大会やイベントのオンライン配信や視聴が定着したことで、ファン数は着実に増加し、2025年には1,200万人を超えると推計します。



## 日本eスポーツ連合（JeSU）について

一般社団法人日本eスポーツ連合は、日本国内のeスポーツの普及と発展、そしてeスポーツの振興を目的に国民、とりわけ青少年の競技力の向上及びスポーツ精神の普及を目指しています。eスポーツの認知向上とeスポーツ選手の活躍の場の更なる拡大を目指し、競技タイトルの認定や選手のプロライセンス発行、そしてアジア競技大会をはじめとした国際的なeスポーツ大会への選手の派遣など様々な取り組みを行っています。また、以下のスポンサー企業や団体の支援を受け、国内のeスポーツ産業の発展に努めています。

## 株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

[press-cp@lab-kadokawa.com](mailto:press-cp@lab-kadokawa.com)